



世界遺産応援プロジェクト第一弾

世界遺産を目指すまちづくり

—富岡製糸場—

富岡市まちづくり課・群馬県都市計画課街路係・富岡土木事務所

「富岡市のまちづくり」

富岡市 世界遺産まちづくり部 まちづくり課 街並み整備係

富岡市は、世界文化遺産登録を目指している富岡製糸場をはじめ、関東の耶馬溪とも呼ばれ妙義荒船佐久高原国立公園の中心となる妙義山、周辺の里山、鐺川水系の清流などの豊かな自然、地域固有の文化や歴史を重ねた街並みなど豊富な地域資源があります。



富岡市のまちづくりは、平成18年3月に策定した「富岡市まちづくり計画」地域資源を活かした持続可能なまち～富岡製糸場の世界遺産登録を見据えて～に基づき事業を進めています。この計画では、製糸場が位置する富岡市の中心市街地の活性化を図るため、まちなかに住む生活者や周辺地域から集まる市民及び観光客などの来街者のそれぞれの視点からまちづくりを推進することを基本方針としています。

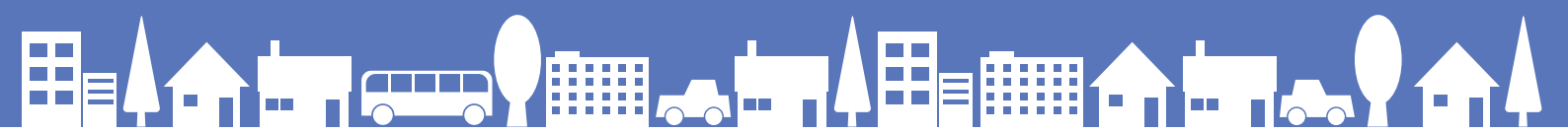
基本計画としては、道路整備計画、歴史と自然を活かした景観形成、歴史的建造物の保全活用、界隈性のある飲食店街の整備と路地の再生、駐車場整備とサイン計画などを盛り込んでいます。具体的には、平成17年度から社会資本整備総合交付金事業(旧まちづくり交付金)を活用し、事業を進めています。現在は、平成24年度から26年度までの3か年の事業計画を立案し、本年6月の世界文化遺産登録の実現に併せ、事業の進捗を図っています。喫緊の課題として、年間60万人(富岡市観光戦略における製糸場への来場者数の見込み)の観光客を円滑に受入れするため、群馬県都市計画課、道路管理課、富岡土木事務所などと連携を図りながらサイン計画の策定や駐車場の整備を進めています。

富岡製糸場の世界遺産登録に向けた交通誘導計画

群馬県 富岡土木事務所

今年の6月に世界遺産登録の期待が高まる富岡製糸場ですが、注目度の高まりとともに観光客は年々増加しており、平成25年は例年を大きく上回る約32万人の観光客が訪れました。今後、県内外からの観光交通量の増加により、富岡市街地の混雑が予想され、自動車と歩行者等が混在することによる安全性の低下が危惧されています。このため、富岡市と連携して、車両の混雑回避や自動車と歩行者が交錯しない、安全かつ円滑な移動を促す交通誘導計画の策定を進めてきました。

車両誘導計画の策定にあたっては、自動車の流入ルートを想定し、富岡市の観光戦略で位置づけた駐車場への誘導を、『分かりやすいルート』、『地域住民の生活道路への影響を少なく』、また『歩行者誘導ルートと交差させ



ない]等を基本に進めました。結果は、資料1のような市街地への車両の流入を極力抑えた交通誘導計画になりました。この誘導ルートにおいては、過去に最も混雑したゴールデンウィーク期間の来場者データを用いて交通シミュレーションを実施し、周辺道路で混雑が生じないことを確認しています。次に、歩行者誘導計画は、富岡製糸場の玄関口である上州富岡駅前に歩行者用の大拠点サインを設置するほか、まちなかの主要な交差点に中拠点サインも設置していく予定です。さらに、歩道等の路面には、富岡製糸場への誘導方向を表示し、誘導の先は中心市街地のまちなかゾーンにつながっていきます。多くの観光客がまちなかゾーンを周遊することで、同地区の賑わいにつなげたいと考えています。



【資料1 交通誘導計画 車両ルート図】

富岡製糸場の新たな玄関口「上州富岡駅」

群馬県 都市計画課 街路係

富岡製糸場の最寄り駅となる上州富岡駅は、世界遺産登録への期待の高まりとともに、国内外から多くの観光客が訪れることが見込まれます。このため、増加する観光客への対応や世界遺産のまちにふさわしい景観の一部となるよう、富岡市や上信電鉄と連携して新駅舎の整備を進めてきました。また、駅舎の改築と合わせて駅前広場やロータリーの整備を行い、交通結節点を強化することで、交通手段の多様化を図ります。

新しく生まれ変わった富岡製糸場の玄関口「上州富岡駅」は、平成26年3月から使用開始となります。駅舎の設計は、設計提案競技方式(プロポーザルコンペ)により(株)TNAの提案に決定しています。薄茶色の煉瓦の壁と大きな屋根が特徴的なこの駅の提案には、大きく3つのテーマがあります。一つ目は、富岡製糸場の玄関口に相応しい駅舎です。電車と町をつなぐ大きな門型の外観は、来訪者を迎える駅舎として人々に高揚感を与えます。二つ目は、富岡製糸場の最先端追求の気概を継承しています。富岡製糸場は、「木骨煉瓦積造」という当時では画期的であった構造技術が使われており、その最先端追求の気概を現在に伝えるため、新しい上州富岡駅には、「鉄骨煉瓦積造」という構造を採用しています。三つ目は、駅を中心とした人に優しい地域拠点になる駅です。この駅は、観光客だけでなく、通勤・通学の足として利用する地域住民の日常の駅でもあり、駅を地域の拠点とするために、富岡市のインフォメーションコーナーや交流スペースといった市民が気軽に利用できる活動の場が設けられています。

上州富岡駅が、訪れた人々に使い勝手が良く、また訪れたくなるような居心地の良さや、地域の方々が交流の場として利用できる駅舎として、富岡市と地域の皆様が進める賑わいと活力あるまちづくりに大きく寄与することを期待します。



【上州富岡駅周辺完成予想図 設計：(株)TNA / 武井誠+鍋島千恵】

